

超音波内視鏡という言葉をよく存じてでしょうか。超音波内視鏡とは、内視鏡(胃カメラ)の先端に超音波を送り込んだ医療機器のことでございます。超音波はすでに循環器、消化器、婦人科などいろいろな分野において、体への負担が小さい検査方法として普及しています。

この超音波内視鏡で何をすれば



# 健康 七 四国

徳島大学病院消化器内科

宮本 弘志 講師

## 膵がん治療に超音波内視鏡が威力

膵臓の病気のうち、膵がんは男女ともに増加傾向にあり、治療成績の悪いがんの一つです。この膵がんの診断および治療方針決定にEUS-FNAが威力を発揮しています。膵がんには、神経内分分泌腫瘍をはじめとするまれな腫瘍も存在しています。通常の膵がんのほか、特殊なものもかが分かれ、適切な薬物選択が可能となります。また、外科切除を行う際にも、組織診断で悪性の所見が確認できると分かると、手術を中止していただくことができます。

かといえども、もともと通常の超音波検査機器では、膵臓を透視することが難しく、更に膵臓の構造を正確に捉えることができません。EUS-FNAは、超音波の先端に細い針を挿入し、超音波と組み合わせて膵臓の構造を正確に捉えることができます。EUS-FNAは、膵臓の構造を正確に捉えることができ、膵臓の構造を正確に捉えることができます。EUS-FNAは、膵臓の構造を正確に捉えることができます。EUS-FNAは、膵臓の構造を正確に捉えることができます。

膵臓がんや膵臓炎でもEUS-FNAに取って代わりますが、EUS-FNAのEUSは、膵臓の構造を正確に捉えることができません。EUS-FNAは、膵臓の構造を正確に捉えることができます。EUS-FNAは、膵臓の構造を正確に捉えることができます。

膵臓がんや膵臓炎でもEUS-FNAに取って代わりますが、EUS-FNAのEUSは、膵臓の構造を正確に捉えることができません。EUS-FNAは、膵臓の構造を正確に捉えることができます。EUS-FNAは、膵臓の構造を正確に捉えることができます。